

202507 Vietnam

0708

ボリビアから帰国して1週間。授業に締め切りの原稿などなど。さらに金曜夜はERWの懇親会、86年農芸化学卒業の同窓会の開催を土曜に、日曜にはマラソンの練習会。ボリビアでかかった風邪は向こうの薬で治ったと思っていたのですが、咳、鼻水、くしゃみが残ってしまい、結局今日の出張ギリギリまで治り切りませんでした。ボリビアでは完全には日本時間では過ごせなかったもので、帰国してからは時差でも苦しみました。ようやく昨夜は一度も夜中に目を覚まらずに朝までしっかり寝ることができました。昨夜は少し涼しかったのも良かったのかもしれませんが。

この1週間に論文（共著）が2報受理されました。そして、昨日は新しいc（MacStudio）がやってきました。ずっと2015年製のMacProを2台使っていたのですが、すでに新しいOSへのアップデートができなくなって、そのために利用しているアプリのアップデートもできなくなっている状態でした。安全性にも問題ありだったのですが、先立つものがない。。。そうこうしているうちにそんなに古くないMacBookProの充電がきなくなってしまう、修理に出したらロジックボードの交換になるか、同じ値段で新しいノートを購入した方が良いと言われて、修理を断



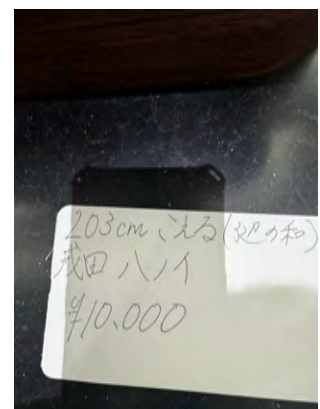
Ma
使
て
い
る
と
で
ら
念

。ということで、今年に入って3台のPCを処分することになりました。

ノートはiPadで代用（意外と使えます）。PCは今回の更新でMiniとStudioになりました。Studioは見た目はMiniとそっくりですが、だいぶ大きいです。今回Studioにしてちょっと困ったのはずっと愛用していて、まだまだ使えるCinema Displayになんと繋がいません。Cinema Displayは特殊なビデオポートがついていて、これに転換してくれるケーブルがありません。調べてみると、Studioはそれには対応していないそうです。画面3つを2台のPCで使っていたのですが、結局はモニターは2つに減らすことにしました。ちょっと寂しいですが、机の上はスッキリしました。なので、良いとします。

朝9時に大学に集合。今回は土壌サンプリング用の荷物を分担して持つ必要があるため、大きなスーツケースとリュックサックで出かけます。実際にはさらにスコップやブルーシートを運んだのでかなりの荷物になりました。

札幌駅まで新しいPDと一緒にエッチラオッチラ運んで、JR。千歳空港では特にサイズのことも言われずに積み込んでくれました。ラウンジで少し休んで、羽田に。羽田からはバスで成田に行きました。さて、成田。航空会社のカウンターで手続きをしていると、まず、3辺の合計が203cmを超えている荷物があるということで、追加料金1万円。さらに荷物の数が6個でこれも一つ多いということで、追加料金1万円。かかると言われました。それは嫌だ。ということで、まずは大きすぎた荷物の包装を削除して小型化。結局それでもちょっと大きかったそうですが、許してもらいました。持ち帰る時はダメですよということでした。



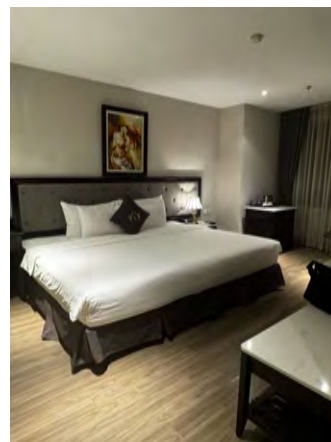
荷物の数に関してはスコップが入っている入れ物（二つありました）を一つに合わせてビニールでぐるぐる巻きにして、許してもらいました。ただ、グルグルまきにするのに1500円必要でした。そうこうするうちに、搭乗時刻が近づいてきます。そして、出発前に打ち合わせをしたいというメ

ンバーが待ち構えています。ラウンジには寄らずに（寄れずに）そのまま待合室で打ち合わせ。搭乗時刻になってしまいました。

でも搭乗すると、席はプレミアムエコノミー！！今回は特に何かお願いしたり、変更しますと言われたわけではないのですが助かります。他のメンバーには悪いと（ちょっと）思いましたが、許してもらいます。

入国審査はかなり時間がかかりました。飛行機が着陸すると耳が痛い。空気が抜けません。結局最後の1人が出てくるまでには1時間ほどかかりました。それでも荷物は全て問題なく出てきました。今回は人数が多いこともあり、車をレンタルしています。合計3台。大きな荷物のメンバーもいるので助かります。ホテルはハノイではこれまでも良く利用しているSen Grand。

部屋は広く、快適です。バスタブもあるのでお湯を入れてくつろいで、すぐに寝ました。



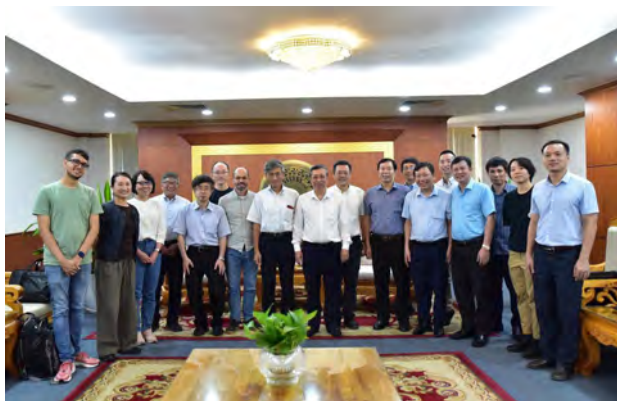
0709

朝、目が覚めても耳の痛いのが取れません。困りました。いつもはすぐに空気が抜けるのに困ったものです。ちょっと風邪気味なのが一因なのかもしれません。朝食はフォー。魚のフォーでした。他にも果物などいろいろ。このホテルの朝食は美味しいです。

8時にホテルを出発。まずはMAE (Ministry of Agriculture and Environment)を訪ねます。今年の1月に農業省と環境省が合併したので、まずはご挨拶です。かなり立派な部屋に通されて、しばらくすると副大臣のHoang Trung氏がわざわざ面談の場を設けてくれました。今回のプロジェクトのことに色々と評価してくれて、さらに現地（タイニン）で問題等があれば連絡をするようにということでした。手紙をSFIに渡すので、それを見れば良いということでした。



先方の取材担当の方々（カメラとビデオ）にも色々撮影されて、解散。後から聞くと、副大臣まで出てきたのはかなりの厚遇だということでした。後からこの広報に掲載されるとのことでした。



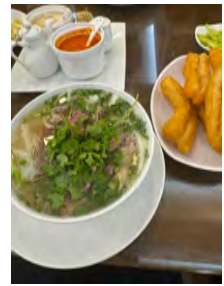
記念写真を撮りました。

MAEの後はSFIに向かいました。ベトナムとの会議には時間がありましたので、まずは日本側でのコンセンサスを取るためにメンバー内での打ち合わせ。この段階でかなりの議論になってしまいました。なかなか対面で議論ができていなかったのが仕方ないのですが、それでも議論を重ねて

それぞれの課題の問題点や共通で取り組むべき点などが明らかになってきました。

昼食はPhoのお店に

牛肉のPhoでした。100000ドン（500円くらい）。



全体会議はSFIとAGIの参加メンバーが集まり、かなり密に打ち合わせをしました。結局時間がなくなり、翌日に一部は持ち越しに。夕方になっても耳が治らず、さらに目まで痛くなって困りました。

夕飯はSFIの設定したレストランで。

揚げ春巻き、ピーナッツのサラダ、クンシンサイの炒め物、鍋。。。それとビール。食べ過ぎというか、ビールの飲み過ぎです。ビールを飲んでいれば耳の痛いのも忘れるので困ったものです。

ホテルに戻って、またしてもすぐに就寝。5時くらいまで寝ていました。



0710

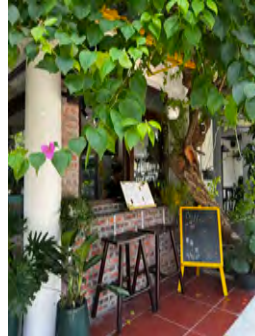
今日は9時の出発なのでだいぶ余裕があります。530頃から最上階のジムで少し汗を流し（暑いので長い時間は無理）、それからシャワーを浴びて朝食です。

朝食はメンバーの方との情報交換が忙しくて写真を撮るのを忘れましたが、今朝は軽めにしました。コーヒーマシンはたくさん飲みましたが、のんびりと朝食を楽しんでいると、ホーチミンに今朝先に入る先生から連絡が。ホーチミンに同じ便で来ているはずの他の2人の方と合流できないと。すでに手配した車のドライバーと待っているとのことでした。メールの連絡先しかなく、連絡を取ったのですが返事はなし。日本に連絡を取って携帯を調べてもらったのですが、北大には情報なし。先方の所属先にも確認をしたりしたのですが、つかまりません。入国審査に時間がかかったということだったので、もう少し待ってもらうことにしました。しばらくすると2名からホテルに着きましたと。。。タクシーで自分たちでとのこと。。。こちらからの空港で車が待っているというメールは未読メールになっていました。すみません。とのことでした。いやー。なんというかですね。まあ、先生には長時間の空港での待ち時間となってしまったのですが、みなさん無事にホテルに到着できたようで一安心です。

一安心したところで、本日は、まずはJICAハノイを訪問します。これまでも何度も訪問しましたが、正式に採択になって初めてのご挨拶になります。今後の進め方などについても相談をさせていただきました。

打ち合わせの後にはSFIとAGIに分かれます。さらに一部のグループはデンプンに関しての別の組織を訪問するため、3つに分かれた行動になります。自分はAGIに寄ってから、銀行に行く必要があります。まずは昼食。ハノイの名物といえばブンチャー。つけ麺ですね。甘めのスープに肉が入っていて、これに米の麺をつけて食べます。





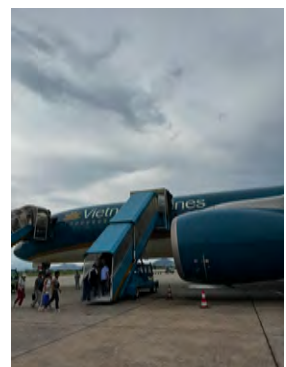
少しAGIでの会議に時間があったので、AGIの中にあるコーヒーショップ。ベトナムアイスコーヒーをいただきました。

今回、面倒だったのはこちらで借用する車の支払いをベトナムドンで銀行から振り込まなければならぬため、まず、銀行で日本円を両替して、それを振り込みます。ただし、ベトナムでの振込はベトナム人である必要があります（というか、ベトナムの銀行に口座を持っている必要があるのだと思います）、そのため、ベトナム人スタッフと同行して作業を行う必要がありました。最初の銀行では**ドルしか両替ができない**と言われ、次の銀行で対応をしてもらいました。なかなか面倒です。

1時間くらいかかりましたが、無事に振り込みも終了して、AGIに戻ると今後のプロジェクトの進め方で色々と議論が白熱しています。なるべくベトナムでの技術向上を目指す必要があると思いますので、議論を少し軌道修正させてもらいました。

15時にそれぞれの機関に訪問していたメンバーもAGIに集合して、空港に向かいます。カウンターで手続きを始めたのですが、**荷物は一つだけだよ**と言われて困りましたが、e-ticketには2つと記載されているので、それを見せて納得してもらいました。日本からの出国の際には色々となった大きな荷物や重い荷物は大丈夫でした。

ホーチミンへはベトナムエアで約2時間。荷物も無事に出てきてホテルに向かいます。似た名前のホテルがたくさんあるようで、運転手も2回ほど間違えて2030頃にたどり着きました。ハノイのホテルに比べるとちょっと格は落ちますが、十分に休めそうです。荷物を部屋に置いて、明日は7時出発とのことで、支払いをまずは済ませます。ここで、ホーチミンに到着の3名と合流して、夕食に出かけます。といっても、二軒隣のフォー屋さん。ビールがあったのでビールとフォーをいただきました。帰りがけ（といってもホテルの隣）にある別のお店で饅頭を発見。肉まん？のようです。特にお腹が空いていたわけではないのですが、これは食べてみたいとおもい、みなさん（全員ではないですが）購入しました。一つ25000ドン。部屋に戻って食べてみましたが、肉まん＋うずら卵入りの饅頭で、かなりお腹に出来ました。食べるのは楽しい。



0711

5時くらいになると少し空が白んできたので、近くの公園まで行くと、老若男女問わず散歩をしたり、踊ったり、運動をしたりしていました。30分ほど過ごしてからホテルに戻りました。

昨晚ホテルに交渉して、本当は7時開始の朝食を簡単な内容でということで6時半に変更してもらいました。6時半に食堂におりたので、コーヒーなどがあるから飲もうと思ったら**7時からだからダメだと怒られ**

てしまいました。どうもお弁当を用意してくれたからのようです。でもコーヒーを飲みたいなと考えていると、同行している人が近くにお店があると教えてくれて、4人で出かけました。テイクアウトでココナッツコーヒー。美味しい。冷たい。暑いベトナムの朝にはピッタリです。お弁当を持って出かけます。お弁当は。。。でした。写真も撮らなかった。。。

今日はまずHLARC（ビエンホアにあります）を訪問して苗の交渉。そしてノンラン大学で育種に関しての情報交換をしてからタイニンに移動します。車での移動時間がかかなり長くなります。車の中でお弁当をいただきましたが、確かに簡単。物足りないですね。HLARCには2時間半ほどかかって到着。先方の研究の紹介ビデオを視聴した後に、簡単にこちらの研究体制の紹介。その後、適切な苗の供給について、量や価格、時期についての打ち合わせを行いました。HN-1を主力品種として研究で利用する予定にしていたのですが、先方の話からHL-RS15という新しくリリースした品種がおすすめであることを聞きました。その後実際に圃場においてその新しい品種を見せてもらうと良さそうです。根腐れ病にも強いということなので、期待が持てます。ただし、問題点として挙げられるのが、価格が約2.5倍もすることです。また、必要とする5万弱の株が用意できるかどうかの問題もありましたが、担当者（所長）と相談をして基本的にこれを導入することで合意いたしました。また、苗の供給時期に関してもこちらの必要な時期に合わせて幅を持たせることも可能だとのことでした。実際に株を見ながら他のメンバーも含めて相談をすることで良い方向性が見えてきたかと思います。昼食は以前にも寄ったことのある人気店。ご飯を一人一人に小さな釜で炊いてくれるのが美味しいです。ジャポニカを使って



いました（ベトナム製）。豚肉もありましたが、魚料理が中心でした。そういえばお米を食べたのは久しぶりです（麺以外では）。

ノンラン大学まではレストランから30分ほどでした。初めての訪問です。ここではキャッサバの育種に関しての打ち合わせを新しい品種の導入を考えているチームが行うことになっています。が、実際に会議が始まるともう特に話すことがないとのことで。。。？？？それでもその大学の研究者が出した論文に基づいて現在の育種の流れなどを確認したのですが、育種は行っていないとの話で**残念ながら新しい情報を得ることができません**でした。



やむなく30分ほどで切り上げてタイニンに向かいます。

向かっている途中でまたしても問題が。滞在中に別行動をとるグループがあり、その点は事前に確認を取っていたのですが、同行する人数を増やしたいということが移動中にわかりました。そう簡単に言われてもです。車の手配はどうするのですか？支払いをするのに現金が必要なのはどうするのですか？急な対応はできないと事前に伝えているのですがね。ツアコンではないです。と、ちょっとイライラとしましたがちゃんと事情を確認をして、納得しました。イライラ禁物です。なんとか対応できるように調整をしました。

7時過ぎに到着。夕飯を食べに行くことにしましたが、ホテルのそばのお店は730で閉店するというのでニューさんにお願いしてこちらの伝統料理を食べられる場所に連れて行ってもらいました。タクシーで10分ほどかかる場所でした。ここがかなり素敵な場所でした。ワインもあるようですが、暑かったので

みなさんビールです。魚介類が中心で、海の貝、ハタの煮た料理などなど。途中で料理を追加して少々飲み食いしました



が、1人3000円程度でした。お店のご主人のマダムと記念撮影いたしました！

0712

730出発です。朝食が630からですので少しくつろげます。朝外に出かけたかったのですが、メールをチェックすると**色々トラブル**が。。。早朝から対応をしていると時間がどんどん経ってしまい、結局外に出かけることもできずに朝食、そして出発の時間になってしまいました。

土曜日ということもあり、当初はそのまま圃場に行く予定だったのですが、先方から借りる試験地のことで、試験地があるタンホイ(Tân hoi)地区の委員会から提案があるということで、先にその事務所に行くことになりました。代表の人に簡単にプロジェクトの説明をしたのですが、



何か色々議論になります。ベトナム側カウンターパートがベトナム語で対応してくれました。1時間ほどの会議の後に会議の内容を教えてもらいました。どうも今回試験地にする予定であった場所が隣接する工場（サトウキビを利用するという）が敷地を

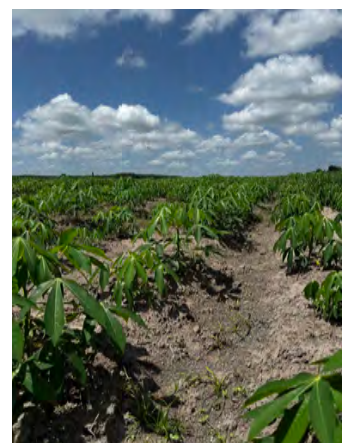
拡大する計画になっていて、それに伴い、試験地も工場敷地にされる可能性が高いので**5年間維持することが難しそう**だということです。その代わりとして委員会が確実に5年間の利用を保証可能な試験地を2箇所紹介するので、そこを検討してもらえないかということでした。委員会の人たちも同行して、地図を見ながら三箇所の候補地を回ります。まずは最初の候補地（今回到着するまで



はこの場所になると事前に相談をして、決定をしてきました）。土壌も簡単に掘り、その状態を確認します。20cmほど下に硬い層があります。ここは洪水もないということでしたが、やはり工場の敷地に接しているのを確認しました。

5年間保証できないと言われてしまうとさすがに厳しいです。

次の候補地もすでにキャッサバが栽培されています。奥から手前に少し傾斜があり、そのためここでも洪水は発生しないということでした。さらに下の方にはゴム、水田、そして川が流れています。ここも硬いです。ここは借り上げることは可能だということでした。ただし、現在植っているキャッサバの保証は必要だということです。また、**携帯の電波が繋が**



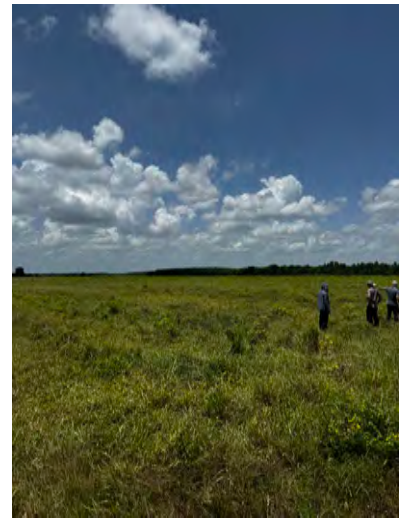
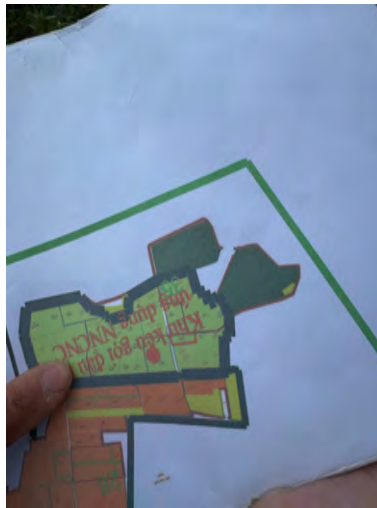
らず、電気もありません。また近くに農家もあるようではありませんでした。

3つ目の候補地は委員会の一押しでした。コミュニティに近いので管理がしやすいということでした。

いずれの試験地も土壌は2、30cm下に極めて硬い層があるため、このままだとほとんど根は下方には伸長しないと想定されました。色々悩みましたが、地元の方からのサポートが受けやすいこと、携帯の電波が届く場所ということで3番目の試験地を選択することにしました。

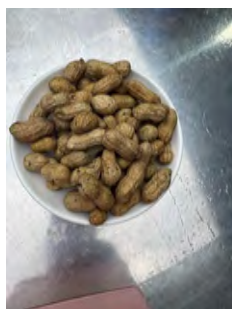
全体で30ヘクタールほどあるということですが、最初は5ヘクタールの借用です。その後20ヘクタールに拡張しますが、この20ヘクタールは生産者に協

力をしてもらい環境再生型農業を実践してもらおう計画ですので、この場所でもなくても問題はありませんが、このまま借り上げて良いかもしれません。昼すぎまで作業をして、**あまりの暑さ**に昼で作業をやめることにしました。昼食はタイニン市内の食堂で美味しいご飯をいただきました。



ホテルには14時頃到着。少し休んで圃場作業に関連するグループは15時から再度打ち合わせです。18時前までみっちり。いよいよお金の話など必要になります。あまり大っぴらにお金の話はできないので（交渉事項）、カウンターパートの方と2人で計算機などを眺めながら打ち合わせます。なんとか当初の予算でクリアできそうな感じなので一安心です。実際に海外に試験区を設置するとなると、管理の問題もあり色々大変です。が、少しずつ進んでいるので期待もできます。

夕飯はホテルのそばのフォー屋さんに食べに行くことにしていたのですが、先に行ったメンバー（北大関係者が多い）から**ビールが無い**との情報が。慌てて合流し、そこをやめてビールがあるお店を探すことにしました。通りに出て隣の屋台のようなお店を見るとビールと書いてあります。まだお客さんもいなかったようでしたが、ビールがあるかと聞くとあるよということですので、中に入り込み4人でビールを飲みだしました。しばらくすると他のメンバーも合流して10名ほどで夕食に。おつまみのようなものしか無いようでしたが、おつまみの胡麻煎餅、ただのちょっと甘い煎餅、ゆでピーナッツ、ジャンボタニシ、アサリのような貝、揚げ豆腐、野菜炒めなど何品も料理を

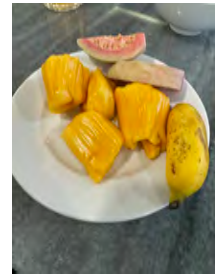


作ってもらいました。その間もみなさんビールが進みます。スルメもありました。これも美味。結構お腹がいっぱいになっても1人13万ドンとかなりお安い。途中で雨が降ってきて慌ててお店の奥にテーブルを引っ張り込んだりしたりと楽しい時間でした。

今日の午後は何名かのメンバーは打ち合わせには参加せずに自分の時間を過ごしてもらいました。以前泊まったことのあるホテル（タイニン唯一の5つ星ホテル）のプールやサウナなどの施設を25万ドンで借りられたということでした。今回のホテルは3つ星で、プール、運動用の施設は付属していませんでした。

0713

早朝に外に出ていたのですが、道の段差でつまづき、**右足首を挫いて**しまいました。そんなにひどくはないと思いますが、ちゃんと歩けません。（というが無理して歩くと悪化させそうです）ホテルまではゆっくりと戻り、準備を進めます。シャワーを浴びて、朝食を食べましたが、昨晚の暴飲暴食のため、食欲はあまりありません。なお、今日は部屋を移動しなければなりません。そのため一度荷物をまとめる必要がありました。若いPDをお願いをして、重い荷物はおろしてもらいました。今日は圃場で土壌断面調査と土壌サンプリングになります。土壌断面は予定では月曜の午後に全員に見てもらう機会を設定したので、圃場に直接関与しないメンバーは別行動が取れるように車を一台残して別れました。今日は日曜日です。



圃場には30kmほど。早速、試験区の設置場所の確定に続いて、土壌断面の作成に入ります。が、足が痛い。**歩くのが辛い**。荷物も持てない。これでは役

にたちません。やむなく荷物番をすることにしました。が、暑い。太陽を遮るものが何もない圃場の一角で座って今回の圃場についての情報取りまとめをしていましたが、見るに見かねたドライバーが近くの地元の小さなお店に連れて行ってくれました。助かりました。ヤシのジュースを出してくれて一息つけました。扇風機もあり、大助かりです。ここで時間を潰すことにしました。みなさんにはヒンシュクです。申し訳ないです。この場所を拠点にしても良いのですが、歩いてはちょっと遠いです（10分ほど）。やはりすぐそばの農家の敷地内にコンテナハウスを設置するのが良いかと思います。



土壌断面は現地の農家の方のサポートもあって進んでいるそうですが、とても暑いということです。この民家は日陰もあって涼しいです。本当に**かなりヒンシュク**ですね。

昼少し前に作業がだいぶ進んだということで圃場に戻ることになりました。二箇所です。二箇所では土壌断面調査です。まだ一箇所しか完成しておらず、二つ目は農家の方が掘っている最中です。（二つ掘るのに3000000ドン 15000円くらい）

2、30cmに硬盤層があり、その**硬さが半端ではない**ということでした。その下は少し柔らかく、湿り気もあるとのことでした。土壌は雲母は少ないですが粘土主体の土壌。Ap層はやや有機物が溜まっているようだということでした。

昼食はタイニン市内の少し奥まったところにあるレストランでした。ここは日本側が支払うということにしました。ここで今回初めてキャッサバ料理が振舞われました。使う品種は澱粉用では

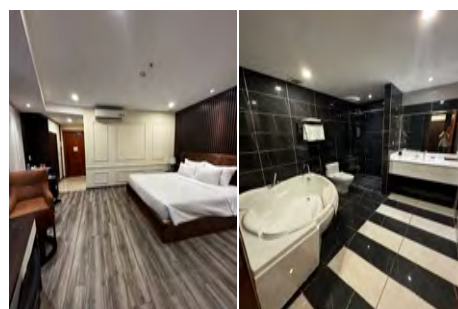
なく、甘みがあり柔らかいタイプの食用の品種ということでした。ココナッツと一緒に煮るのだそうです。美味ですね。牛肉と四角豆。四角豆は久しぶりでとても美味でした。



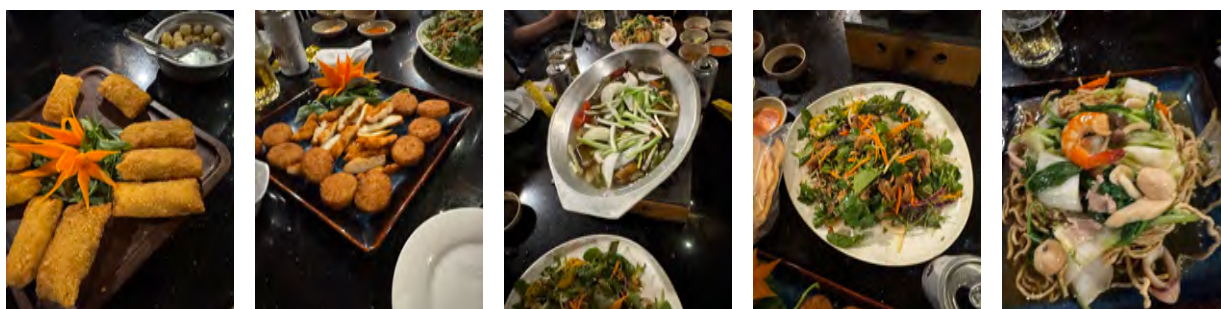
イカとパイナップル。まさかの組み合わせですが、これが結構いけます。ナマズかな？そして卵焼き。これがとても美味。自分は外作業をほとんどしておりませんので、疲れ切った土壌班の皆さんには頭が上がりません。ご苦労様です。明日もまだ作業はありますが、暑い昼間は少しでも避けて作業をしないとです。

さて、今日はホテルの部屋をするのですが、さすがデラックスルーム。

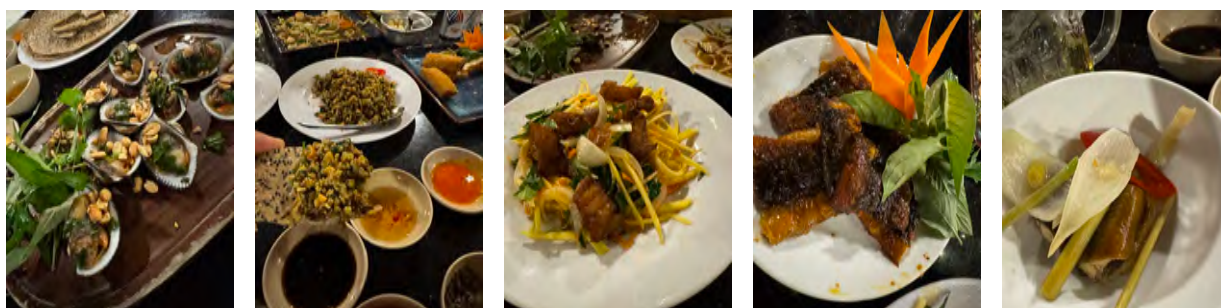
部屋の広さが違い明日。お風呂場の広さも違います。バスタブ（それも綺麗）がついています。早速お湯に浸かって足を休めました。足の腫れは引きません。まあ、そんな簡単には治らないと思います。歳だし。同行しているベトナム人PDのかたに連絡をして、捻挫のために何か薬を調達してくれないかお願いをしました。エアスプレーを手に入れてくれました。効果あります。ありがとうございます。



部屋でメールのやり取りなどを行い、夕飯です。今日の夕飯はホテルの近くで（隣のフォー）で食べましょうということだったのですが、ビールが欲しいということで近くを探したのですが、あまり良さげなところがありません。ホテルのフロントで美味しいレストラン情報を仕入れたメンバーからやっぱりタクシーで行きましょうということになりました。川沿いの良いお店だそうです。



左から魚のフライ、お米のフライ、鰻の煮物、牛肉のサラダ、硬焼きそば、



何かの貝（海）、ウナギと何かを炒めたものを胡麻煎餅の上に、マンゴーのサラダ、鰻の照り焼き、鰻の煮物の完成品

満腹です。帰りは自分のアプリでGrabを利用してみました。これは便利ですね。言葉が通じなくても大丈夫ですし、カードでの支払いです。領収書ももらえます。

ホテルに戻り、おとなしく大きな部屋で休養をとります。

7月14日

1日で部屋を交換しなければならないため、またしても荷物を持ってフロントに行きます。天候も問題がなく、今日で作業は終わりの予定です。830の出発です。今日は3つにグループが分かれます。1つ目は土壌断面調査―澱粉工場視察―農家視察、2つ目は土壌断面調査―土壌サンプリング―地元での聞き取り、3つ目はタイニンの農業省への訪問（これは自分が1人で担当）の後にフィールドで合流です。

農業省の担当はスンさんです。以前からお世話になっておりますが、今年の省庁合併でタンニンに二日間、もう一つの拠点に三日間を毎週繰り返しており、交通費、滞在費のサポートがないから大変だということでした。また、以前と異なりタイニン省内の各地区の決定はそれぞれの地区の委員会が責任を持つということで、今回の圃場の借用に関しても地区の決定が優先されるという話でした。まあ、地区の了解をいただいているので大丈夫なようです。

そのほか、部屋を無料で利用して良いこと、現地スタッフとして環境工学の修士をもち、英語もできる方を推薦してもらいました。お会いして話をしましたがとても良さそうです。

農家のサポートも当然可能ということで。実際には後はお金の話がついてくると思いますが、そこまでは今回は詰められませんでした。9月からの本格利用に向けての取り組みになります。

打ち合わせは1時間ちょっと。その後現地に到着するとちょうど、工場などを視察するグループが移動するところでした。車の都合で土壌班として残る日本側スタッフは自分を含めて4名です。土壌サンプリングを終了し、片付けをして、近くの生産者で堆肥を利用している農家が居られるということでそこを訪問することにしました。

面白い農家でした。肉用の水牛を飼育しており（10頭ほど）、その糞尿を堆肥として利用しているとのことでした。半年ほど溜めて、乾かして利用するという事で特に堆肥化とかはしていないようでした。1-2トン/haで5ヘクタールほどへの散布をもう10年行っているそうです。近隣の農家でそのようなことをしている農家はいないということでした。なぜ？生産性が化学肥料だけの区に比較して25%ほど高まるということだそうです。土壌も良くなっていると思うということでした。すぐそばに畑があるのかと聞いたのですが、少し離れたところだということで別の機会に調査をしたいものです。なお、堆肥の散布は手作業だそうです。

帰る前に、農家の家でヤシの実のジュースを出してくれるということでいただきました。冷たくはないのですが、美味しかったです。ここでカウンターパートの皆さんとも分かれて、土壌班のみタイニンに向かいます。汗まみれの皆さんは休養が必要です。

その前に昼食と銀行によることにしました。さて、ここでトラブル発生です。銀行のATMでカードでのキャッシングをしようとしたのですが、うまく行きません。困ったものですが、他の国でも相性があるので諦めようとしたので



すが、なんと**カードが出てきません**。機械に吸い込まれてしまいました。慌てて窓口に行って携帯のGoogle翻訳を利用して（窓口の方も）対応をお願いします。が、日本の銀行だと本人確認ができないから無理と最初は。いや、**それは困る**。なんとかできないかと食い下がり続けたら、どこかに連絡をとってくれて、パスポートで良いことに。また、カードの裏にちゃんと署名があることも条件で対応してくれました。でも30分はかかりました。みなさんは外で待っていてくれて申し訳ないです。本当は銀行の隣のレストランで昼食をとということも考えていたのですが、時間も遅くなったので、ホテルに戻ることにしました。実はこの時、同行の先生がドリアンを入手していてそれを部屋に持って行こうとしたのですが、**見つかってストップ**。一階の倉庫に保管することになりました。で、新しい部屋に移動しました。またしてもやらかしました。部屋をちょっと出て荷物が届くのを確認しようとしたのですが、**誤って自分が外にいる時にドアを閉めて**しまいました。フロントに行って、カードキーを持ってきてもらって、開けてもらいました。今日はカードと相性が悪いようです。

昼食は結局隣のフォーで。ここは壁もない場所なので、ドリアンの一部を持ち込んでまずはドリアンを堪能して（とても美味でした）、それから自分はつけ麺。でもうまく分かれなくて最初からスープに入っても変わらなかったかもしれません。ただ、麺はちょっと違うタイプでした。



昼食後は部屋でベトナム側との残された調整についての協議、日本とのメールのやり取りをしているうちに夕方になり、他のメンバーも調査から戻ってきて夕食に。遠くまで行くのも面倒ですので、近場のお店を探しました。2、3分のところにやはり屋台のようなお店があり、道路に面した席で皆で夕食です。ずっと海鮮が続いていたので、ここでは鳥を中心に料理を注文しました。ビールは当然のようにコップに氷とぬるいビールを箱で出されて好きなだけ飲むスタイルです。



豆腐の唐揚げ、クンシンサイ、鶏の手羽、鶏の軟骨、カニ（そのまま殻ごとガリガリと）、焼きそば、チャーハン、おかゆ。と豪華な夕飯になりました。とても安かったです。

7月15日

圃場作業、現地との調整は雨に降られなかったため順調に終了しました。今日は農家訪問グループ、圃場に近い町の宿舎等の調整のグループ、ホテルでオンライン会議などのグループ（自分）に分かれます。終わり次第各グループがホーチミンに向かうことで話を進めています。

朝食は軽く。といってもバインミーを自作して、あとはおかゆを一杯、フルーツ、コーヒー。

足の状態はだいぶ良くなってきて、腫れは残ってはいるものの、足をついても痛くなくなりました。帰国までには回復していると良いのですが。



午前中はメールの確認と、11時から日本とのオンライン会議。初のGoogle meetsでの会議でしたが、まあ何とか使えました。会議は最長3時間と言われていましたが、1時間で終了。ホテルをチェックアウトして、あとはロビーで待機です。農家視察に向かったメンバーの一部は昼食をして、そのままホーチミンに向かうことになりました。ただし、土壌班に関してはホテルに一度戻ってきてもらうことをお願いしました。なにしろホテルでオンライン会議をしていた自分を含めた2人は現金がほとんど無いのでおい

ていかれると困るのです（**お昼を食べるお金が無い**）。昼食のために戻ってきてくれたメンバーと合流をして、近くのお店に行きました。タイニン風ランチをいただきました。レモングラスで牛肉を煮込んだ料理です。酸っぱみも少しある料理でした。食事の後は一路ホーチミンに向かって出発です。車にはドリアンの臭いが立ち込めているのですが、それはそれでまた良し。**運転手さんはちょっと困っている**ようでしたけど。



途中でコーヒーとトイレ休憩で一休み。屋台のコーヒーも美味しいです。3時間ほどかかってホーチミンには17時に到着しました。1930からSFIとの夕食会が開催されるのでそれまで休憩です。お金を下ろす必要があるので、ホテルの正面の銀行で別のカードでトライしました。今度は無事に出金できました。一安心です。皆さんへの借金も返済できます。そのまま近くのコンビニに行き、少しお土産を購入しました。まだ必要ですがとりあえず必要なものの一部を。足はさらに改善しているようで助かりますが、ここでもう一度痛めたりしないように慎重に歩いています。



豚の生肉のソーセージはこちらの名物、胡麻煎餅、竹筒を使って焼いた肉、魚のマンゴーサラダ、豆腐だったかな、ポテトフライについてくるのはバターと砂糖！



なぜかちゃんとした乾杯の連続になってしまいました。

皆さん、ご機嫌です。

それが一番。全てが思い通りに進んでいるわけではありませんがやむを得ません。でもスタートはしたと思います。

7月16日

朝食後にSFI南支局。これまでの会議等に参加していないメンバーも多いため、概略の説明と要望事項について打ち合わせ。圃場の使用方法については特に除草剤の散布時期についての議論がなかなか落とし所がつかないため苦慮。また、必要なカバークロップの種子の確保、インタークロップの選択などについての実際的な打ち合わせになる。入手先に加えて、カバークロップの播種時期までに間に合うのかなどの調整が必要であった。設置予定の機器の場所については機器の概要が決定次第、情報の共有が必要。また、すでに依頼している機器の購入可否、可能な場合の代理店の紹介などについての議論を継続（結局まだ決まっていないことが判明）。さらに今年度中の短期研修生の派遣についてもまだ人選が進んでいないとのこと。お願いをしていたことの**重要な幾つかが終了していない**ことは困ります。

どうも、ハノイとホーチミンの間のバランスもあるようです。先方の意見の一つとしてハノイのメンバーがまず技術を覚えてそれを関係者に広めれば良いという考えを言われました。こちらとしては実際に機器を扱うことになるメンバーに直接指導をするのが良いと考えているのですが難しいです。ただ、機器類が揃うのは多分年度末（早くても）、と考えると今年度はハノイの顔を立てて、次年度の初頭に南から招聘するのが良いかもしれません。

PhD、現地調整員の部屋などを確認しました。綺麗に部屋は整理されてました。

そのあとは皆でドリアン大会？です。メコン地区で購入したドリアンとタイニンで購入したドリアンの食べ比べをしました。タイニンのドリアンは香りに違いがあってとても美味でした。調子に乗って食べ過ぎました。ドリアンはカロリーも高いし、お腹になんとか溜まります。でも美味でした。昼食はホテルでバインミーをいただきました。なにしろ、ホテルの隣のお店（肉まんを購入したお店）が



ホーチミンで一番バインミーが美味という評判のお店との

ことでした。こちらのベトナム人スタッフもお土産にと購入していました。ポイント？はコンビーフも入っているところでしょうか。ボリュームでお腹いっぱいになり明日。40Kなので二百円くらい。午後はJICAホーチミンを訪問します。今年の春に移転されたとの連絡をいただいております。新しいビルに行きますが、ちょっと分かりにくくて運転手が迷っていました。新しいビルは賃貸の事務室ということで、日系の会社が運営をしていました。必要に応じて会議室を借用し、その大きさも色々を変えられるということで重宝しているということでした。南ベトナムでのプロジェクトの運用にあたってのいくつかの情報交換をさせていただきました。ありがとうございます。

夕食は皆さんをヤギ料理にお誘いしました。ベトナムのヤギ料理は有名です。初めてヤギを食べるという方もおられましたが、皆さん参加されるということでした。さて、どこのお店にするかということで幾つか候補を調べました。ヤギを食べるのであれば、ヤギに徹底するのが良いだろうということで、100%ヤギを標榜しているお店を選びました。タクシーで移動したのですが、街に出ていた方が目的のお店に到着してもおりません。着きましたと連絡を入れると、そちらでも着きましたとのこと??? 原因はチェーン店がいくつかあり、**自分が連絡した場所が間違っていた**せいです。申し訳ありません。その後無事に合流できました。

今日はベトナム人の方がおられませんので予め食べたい（食べたそうな）ヤギ料理を選んでおきました。De Xoi Sa（レモングラスとの唐揚げ）、Cat Chai Toi（腎臓とニンニクの炒め物）、Thit De Com Chay（ヤギシチュー、フライパンに押し付けて作ったであろうおこげつき）、Nhu（ヤギのおっぱい焼肉）、Thit Nuong Sate（焼肉）、Thit Nuong Chao（皮付き肉）、最後にLau Thuong（鍋）



大人数で食べると色々な料理を楽しむことができるので、本当に良いですね。まあ、ヤギが苦手な方もおられたので、ちょっと気の毒ではありましたが。でも、まずは試してみないとですね。自分はケモノ臭さも含めて抵抗なく美味しく

いただけ

ました。

なお、注文するときに、料理の写真などを使って説明したので、自分の周りに従業員が集まってしまう、同行した皆さんには**怪しいおじさん状態**で見られてしまいました。お恥ずかしい。通じない時は身振り手振りで食べたいものを説明したものですから、詳細は述べませんが。

美味しかったです。今日は希望者で今回の調査の疲れを取る目的でマッサージに行くことにしました。ホットストーンマッサージの良いお店がホテルの近くにあるということで、出かけました。23時までの健全マッサージ店です。22時に着いたのですが、90分のコースを選ばせてもらえました。背中、肩、首を徹底的にほぐしていただきました。宿に戻れば熟睡です。

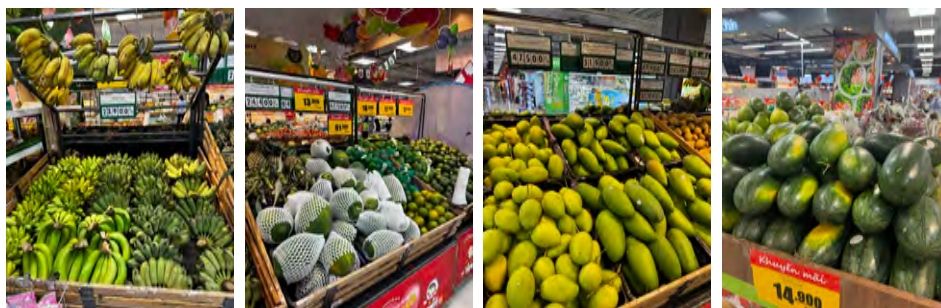


7月17日 作業が終了しなかった場合の予備日にしていましたが、ここまでとしました。市場調査に当たたいと思います。朝食はベトナム人PDのご両親が招待をしてくださいました。少し離れたところにあるレストランを予約していただいております、バインミーの中身が調理されていて、それを自分でパンと一緒に食べるというスタイルでした。昨日食べたバインミーより美味しいですね。入っている具材とプレートの上のものがほとんど同じだと思いました。

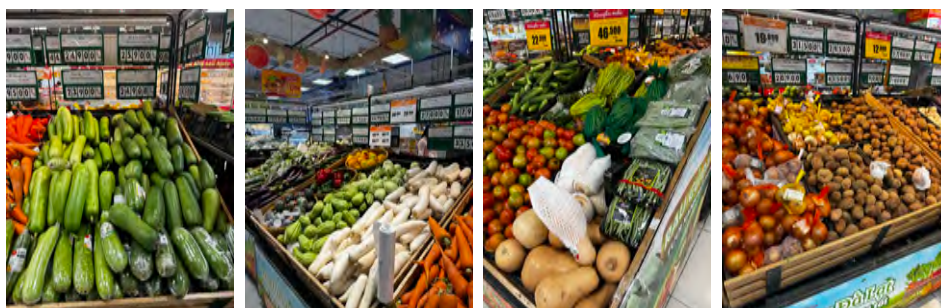


まずは食品売り場の視察に近くの大型スーパーに出かけました。これがいつも面白い。

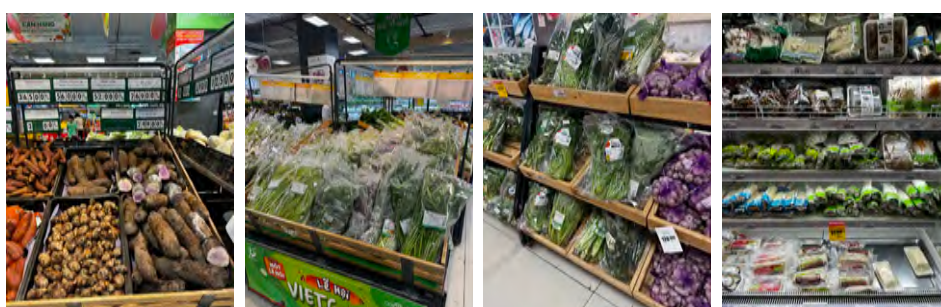
複数のタクシーで別れて行動していたので、メンバーが揃うまで市内でください一番美味しいというコーヒー屋さんに行くことにしました。ここはエッグコーヒーも有名だそうです、自分はレジェンドコーヒーという日本で飲むのと変わらない値段の最上級のコーヒーをいただきました。アラビカに媚びることのない、ベトナムコーヒーの香り高い味に感動をしました。



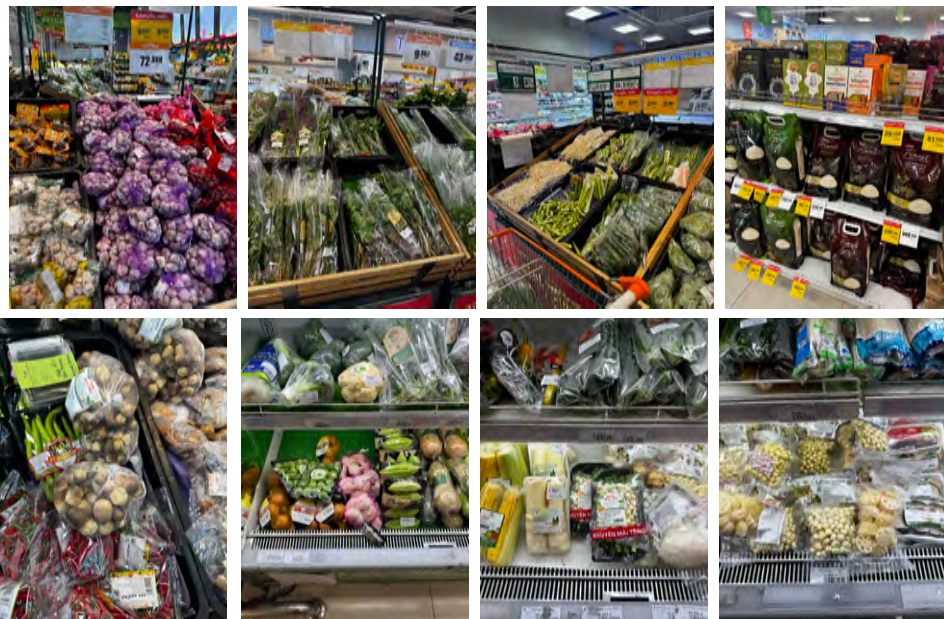
バナナ、パパイア、マンゴー、スイカ



ウリ、人参、バターかぼちゃ、馬鈴薯などなど



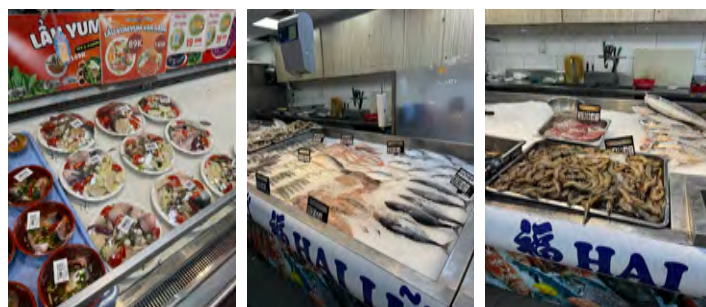
キャッサバ??、野菜類



エシャロットやニンニク、きのこ。お米はタイ米と日本米。値段はタイ米には安いものもありますが、日本米が特に高いというわけではありません。

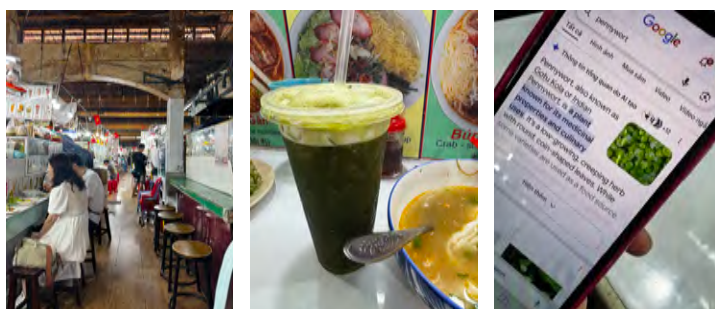
キノコもいくつか種類があります。

肉コーナーの写真は撮らなかったですが、魚コーナーも結構充実していました。



いくつか自分も足りないお土産を購入しました。

スーパーのあとはベントイン市場です。ここは雑貨、服、靴など色々あります。Grabのジャンパーが欲しかったのですが、最初のお店は45000（負けるよと言われました）、次のお店は100000（思いっきり値段を下げて交渉したら、**罵られました**。。。）、3番目のお店は25000。でも全然売る気がなくて、まけてと言っても無理で終わり。結局この売る気のなさが気に入ってここで購入しました。1500円くらいです。ちょうど大雨が降り出したので、昼食はここで食べることにしました。フォーです。それと草のジュース。この草というのは Indian Pennywort という種類です。日本でも見かけたことがあると思ったら、日本でも育つそうです。ただ、日本では食べないですね。癖もないジュースでした。ツボクサ、チドメグサに似ています。インドでは薬草として広く使われ



るとのことでした。

まだ市内観光をしたことのないメンバーもいたため、統一会堂 (Independence Palace)を見学することにしました。自分もここは初めての訪問です。独立までの様々な紆余曲折が紹介されていました。フランス、日本、フランス、アメリカ。同じベトナム人の中でも対立が色々あったことが示されており、こういうことはその国で仕事をする以上、知っておくべきことなんだなと痛感しました。なお、ここはベトナム戦争の終結となった場所です。戦車が2台突入し、1台は門のところで立ち往生し、その後からやってきた390戦車がついに中に突入したということです。そして屋上の旗を今の旗に置き換えた時統一がなされたとのことでした。

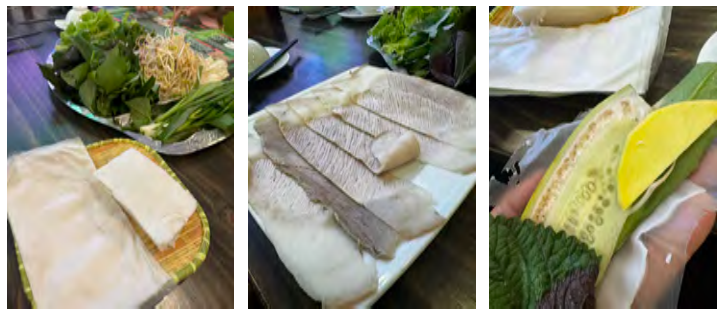
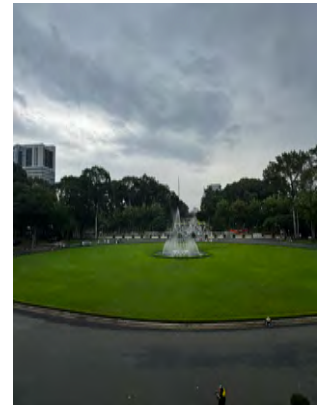
時間があれば戦争史博物館も訪問予定でしたが、結構時間を使ってしまいましたのでそちらは無しにして、夕食の予定の場所の近くのコーヒESHOPで休憩をすることにしました。ベトナムではスタバよりも人気のあるHighland Coffeeで。

夕飯はベトナム人PDのご両親が、中部ベトナムの料理はまだ食べていないだろうからとダナン周辺の料理を出してくれるお店に招待してくれました。

テーブルに何かティッシュのような塊と春巻きの皮のようなものがありました。これはなんだ？ 思っていると、春巻きのかわをその塊に押し付けます。そうすると塊からお米を練った薄い層がくっついてきます。これに野菜などを入れて春巻きにして食べるのだそうです。入れる野菜のほかに、豚肉のスライスもありました。その他にもマンゴー、若いバナナのスライス（これは渋いのですが、一緒に食べると渋さを感じません。初めて食べました）。

エビの炒め物は煎餅に乗って食べます。一応それぞれに合わせた組み合わせがあるようですが、適当に変えて良いんだそうです。

その他にも鯖焼き（味も日本と同じ）、エビのキャッサバ澱粉包み、揚げ春巻き、イカ焼き（生姜入りのナンプラー仕立ての調味料につけて食べます）



すっかりご馳走になってしまいました。ありがとうございます。

空港までは30分もかからずに到着。荷物を預けてさあ出国審査と思ったら、係の人がやってきて、**預けた荷物で質問がある**とのこと。土壌コアサンプリングの道具、ハンマーなどがお気に召さなかったようで、説明を求められました。取り出して、作業の真似をすると喜んでくれました。ということで無事に出国できました。

ラウンジで休んでいて、まだ1時間くらいは余裕があるなと思い込んで、シャワーを予約して入ろうとしていました。するとラウンジにた同僚がもう搭乗口に移動する準備をしています。もう行くの？と聞くと、逆にまだ行かないの？と。自分が時間を勘違いしていました。危うく**シャワーを浴びていて乗り遅れるところ**でした。。。慌てて準備をして、シャワーをキャンセルして搭乗口に。無事に飛行機に乗れました。

でも後でわかったのですが、座る場所を隣と間違っていました。後からきた女性の方が何も言わずに**違う席に座って**くださっていましたので、すっかり気づきませんでした。降りる時に謝りました。ちゃんちゃん

1159の札幌行きのJRに飛び乗りました。急がないとです。なにしろ今日は15時から大切な会議があるのでそれまでには家に一度戻り、シャワーと昼食、着替えて大学に行く必要があります。お土産の中でもGrabのジャンパーが光っています！

